

(特非) イカオ・アコ

フィリピン西ネグロス州における有機農業による持続可能な開発のための教育 (ESD) 事業

イベント参加者の満足度	90%
活動掲載ホームページのページビュー数	3,600 ビュー
活動の全体目標に対する達成度	80%



市内の優良農家によるファームツアー

◆成果と工夫したポイント

- 成果** ・途中で退学する高校生が0名であった(例年数名ずつが脱落)。
・優良農家や農業大学、オーガニックフェスを見学し、農業に関する視野が広がった。
・昨年度より多くの農産物が生産でき、一部は販売につながった。
- 工夫** 2校で4年生約80名がESD特別授業を受講した(計30回)。

課題

対象地域は、サトウキビ畑で働く小作人たちの村で、住民は貧困による低学歴と、それによる農業についての知識の不足、低賃金労働という悪循環に陥っている。

活動内容

質の高い教育を行うため、教員26人に対して1日間の研修を行った。子どもたちに地域の資源を気付かせるため、地域で農業で成功している農家を訪ね、実習を行った。子どもたちに地域の資源を活かした有機農業の技術を教育した(アウトプット:有機肥料1トン、コーンコクシオン(有機液体肥料)100リットル、チンゲンサイ20kg、レタス3kg、オクラ100本、ピーナッツ50kg、とうもろこし20kg)。



教員向けワークショップの様子

今後の課題

農業を中心に高校生にESDを教えてきたが、将来の仕事には農業以外を希望する生徒が多かった。第3年次は農業を専門に学び、農業の職に就きたい若者が集まる大学の農業課を対象として活動を続けたい。